

日高☆覚醒



4

April

平成 31年 4月 12日

NO. 2

2年生最初の1週間が終わりました! 全員無事戻り、全員元気に登校中!!

タイトルに「全員無事戻り」と記載しましたが、風の噂によると実際は「ご無事」ではなかったそうで…(-_-)。始業式前日の先週日曜日、南千歳駅から列車に乗車したわがクラスの4名が、JR占冠駅を通り過ぎて一路帯広方面へ!その後、自力で寮に戻れたのならまだ「珍道中」で済んだところでしたが、時は既に19時で、自力帰還は無理。結局トナムまで産学の佐藤さんに迎えに来てもらうという始末に…。この行動は、高校2年生としての自「覚」ある行動といえますか(産学・佐藤さん、休日にも関わらず誠に申し訳ございませんm(_ _)m)!?

そして、今週水曜日・今年度最初の保健授業では…、何と「11名中6名」が教科書忘れという事態!しかも僅か1名しか事前の申し出なし(;>) というまでもないことですが、いずれの行動とも高校2年生としての自「覚」ある行動とは決して呼べません。今年度のスタートにあたり、今回の一件に関与していない人を含め、わがクラス11名全員への『大人としての自「覚」』を強く求めます。もう既に16~17歳、いつまでも「子ども」ではありません!!!

さて、始業式に提示した今年のクラステーマ:

覚

について…

今日は『「覚」え』という言葉にクローズアップ。現代語では、この言葉は「記憶する」と同義に使われていますが、元来は「世間からの評判・世評」、「目上の方からよく思われること」という意味もあったようです。私は世間からの評判をよくしようとしたり、他人からよく思われようとして行動するのは本義的な行為ではなく(それでもまったく何も考えないでする行動よりはマシですが…)、『目の前のことを真剣かつ一所懸命に取り組んだ「結果」としてついてくるもの』が、「評判」や「世評」というものなのだ^と常々考えています。

人はとかく「周囲の目」や「周囲の評価」を気にしがちですが、そのことに気を遣ったり、神経を尖らせるよりも、「まずは自分自身がすべきことをしっかりと行う」ことが先決です。

この日高高校の評価や評判が今後高まっていくか否かは、「皆さん自身がいかに真剣かつ有意義な毎日を送り、いかに自分自身を高め、また仲間と高め合うか」にかかっているのだ^ということを肝に銘じ、今年1年頑張ってみましょう!そして、始業式の際に述べた「町民の方々へのご挨拶」を爽やかに、よろしく!!!



新生2学年始動(^_^)v 今年1年「阿修羅の如く」戦え!

